

INFORMATION

本会議一般質問に登壇します。

9月26日11時頃
群馬テレビにて放映されます。

◆フレイル・介護予防のための体力診断

近年、県も力を入れているフレイル・介護予防のための体力診断を実施します。筋力・バランス・記憶力などを測定し、健康づくりに役立てます。



日時 11月5日(日) 10時～

場所 八幡公民館 1階集会室

講師 篠原智行 高崎健康福祉大教授

※駐車場に限りがありますので、なるべく乗り合わせや徒歩・自転車でお越し下さい。

◆魚沼産子持ち鮎と上州おきりこみを食べる会



鮎釣り名人が釣り上げた子持ち鮎と、手打ちのおきりこみを食べながら、地域について語り合うイベントです。

日時 10月29日(日) 12時～

場所 下小鳥公民館

会費 500円

◆交流グランドゴルフ大会

健康増進と地域交流を目的にグランドゴルフ大会を開催します。



豊岡地区 9月24日(日) 8:30～
上豊岡運動広場 (会費100円)

六郷地区 11月22日(水) 9:00～
六郷公園 (会費300円)

◆商店街活性化社会実験



こども食堂、にぎわいラウンジ、せんべろなど、中居中央商店街を舞台に様々なイベントを企画しています。

上記イベントの会場：

高崎市中居町 3-30-12

イベントの詳細はこちら➡



LIBERAL GUNMA

変革に向け、始動。

統一選、知事選を通じて、「選択肢」「対立軸」に乏しい状況では、県民に「関心を持って」と訴えても響かないことを痛感しました。群馬の政治をもっとダイナミックなものに変革していかなければならない。そんな決意をもって始動します。



後藤かつみ
県議会レポート

HP <http://www.ccrgoto.com/>
<http://www.eaglesgoto.com/>
(スマートフォン用)



Facebook

発行 行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町 800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com

再生可能エネルギーの推進

持続可能な県政実現に向け

政策・改革を着実に実行

長年の事業・研究活動からの政策提言と、常に改革に切り込む姿勢から着実に県政を前進させています。

次世代に責任を持つ財政改革

環境やデジタル化など、未来の成長に繋がる投資は積極的に行いつつも、安易に借金に頼る体質から脱し、次世代に責任を持つ財政改革を進めています。

2022年11月16日 上毛新聞より抜粋

脱炭素、災害に強いまち加速 県再エネ導入に補助

災害に強く、持続可能な社会の実現に向け、県は再生可能エネルギーの普及に本腰を入れる。太陽光発電設備の導入時、中小企業者に1割当たり4〜5万円、個人には1世帯当たり5万円を補助。事業者は中小企業者に1割当たり6万3000円、個人は1世帯当たり10万円を補助する。産地連携が促され、再生可能エネルギーの導入が加速している。

1世帯 太陽光5万円 蓄電池10万円



自らの再エネ事業の経験を活かし、県内の再エネ導入への支援事業を提言。



電力高騰に悩む地元企業の再エネ導入を後押し。後藤がお付き合いしている企業等で導入が進んでいます。



2023年5月19日 上毛新聞より抜粋

再エネ事業者に供給

自治体として国内最大規模の水力発電を活用し、企業の再生可能エネルギーへの転換を後押ししようと、県は18日、県営水力発電所33カ所の全発電量の8分の1に当たる年間約1億7000万kWhを、県内事業者に供給すると発表した。現在は大手小売業者に全量を販売しているが、一部を切り替える。化石燃料由来の電力からの転換は企業価値の向上につながる」とし、企業誘致にも活用する。

年1億7000万kWh 県営水力発電で環境対応後押し

これまで電力会社に売電しているだけだった県企業局のクリーン電力を、県内企業に供給して再エネの地産地消を進める。県内企業の価値向上に貢献。

2023年6月8日 日経新聞より抜粋

太陽光の余剰電力を貯蔵

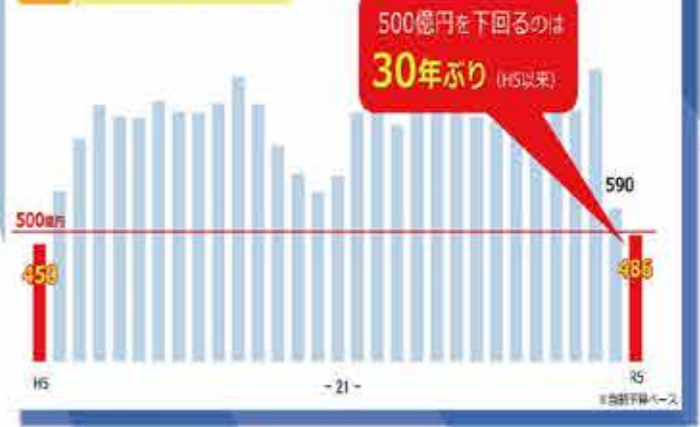
群馬県板倉町で事業へ

送電網構築、災害時も供給

太陽光発電の余剰電力を蓄電池で貯蔵する

板倉ニュータウンのクリーンエネルギー実証実験がスタート

2 県債発行額の抑制



次世代エネルギーである水素の実用化について先進事例をもとに提言。板倉ニュータウンでの実証実験がスタート。

